

# ホアビン hoa binh

Vol. 4 2010年6月21日

広島ベトナム平和友好協会(HVPF)

発行責任者 河内 昌彦

編集責任者 赤木 達男

〒739-0024

東広島市西条町御園宇6912

(Tel) 082-423-7235

(Fax) 082-423-8060

昨年、開始したクアンチ省少数民族寄宿高等学校の子どもたちへの「奨学支援活動」が、2年目に入りました。(下:校長 第一期奨学生名簿)9月には2年生に進級予定です。進級を前にした8月末頃、20名の「奨学生」からそなえられた手紙宛に、近況などが記された手紙が送られてきます。

届きましたら、広島大学のベトナム人留学生に翻訳してもらいい、サポートの皆さんにお送りします。『ホアビン』にも掲載したいと思っています。

楽しみに待つてください。

さて、第一期生に続き、今年9月、新たに入学する「第一期奨学生」のサポート募集を始めました。『中国新聞』に「サ

サポート登録に協力を

## 第一期サポート募集 奨学支援活動



## 医療支援活動 始める

広島ベトナム平和友好協会(HVPF)は、東広島地区医師会(佐々木正博会長)のご協力をいただき、都市間交流を進めているクアンチ省からの要請を受け、「少数民族村に対する医療器具支援活動」を始めます。

昨年から奨学生のふる里(少数民族村)に医療貢献を送ります。今年から奨学生支援しているクアンチ省少数民族寄宿高等学校には、Lankieu(ランキュウ族)、Paho(パロー族)、Pabi(パヒー族)の子どもたち300名余りが学んでいます。

その子どもたちの「ふる里」である少数民族村には、診療所など医療施設が乏しく、血压計や聽診器などの基礎的医療器

「ランカット村」を遠望

具も不足しています。聴診器、血圧計、体温計、体重計、ペンライト、パーソナルコンピューター、プリンタ、顕微鏡、車椅子など、遊休の医療器具を提供していただき、今秋の「第二期奨学生・奨学金授与式」訪問の際、クアンチに届ける予定です。

8月末を目標に東広島地区医師会の皆さんに取り組んでいた会員の皆さん、パソコンなど遊休機材がありましたら、ご提供ください。

